

家庭科(系列選択)

| 科目名 | | | |
|--|---------|---------|-----------|
| ファッション造形基礎 | | | |
| 履修条件 | | | |
| ・家庭基礎を履修していること。 | | | |
| 単位数 | 対象年次 | 帯 | R6年度教材費参考 |
| 2 | 2, 3 | C, E | 7,500円 |
| 定期試験（授業内を含む）の有無 | 実技課題の有無 | 校外学習の有無 | 進路 |
| × | ○ | × | ⑪ |
| 【紹介】 ファッション造形を学ぶために必要な、被服の構成とデザイン、被服材料の選択、洋服や和服の製作に関する基礎的・基本的な知識と技術、態度を養います。 被服製作を通して、立体構成と平面構成の特徴を学びます。 ミシン縫いや手縫いで服を作ることに興味がある人におすすめです。 | | | |
| 【履修上の注意】 ・実技実習をするので、長い爪やアクセサリー等をしたままでは受講できません。 ・実習を中心とした授業のため、裁縫が苦手な人、欠席の多い人は単位の修得が難しいです。 | | | |

| 科目名 | | | |
|---|---------|---------|-----------|
| 服飾手芸 | | | |
| 履修条件 | | | |
| ・家庭基礎を履修していること。 | | | |
| 単位数 | 対象年次 | 帯 | R6年度教材費参考 |
| 2 | 2, 3 | A1, I | 4,000円 |
| 定期試験（授業内を含む）の有無 | 実技課題の有無 | 校外学習の有無 | 進路 |
| ○ | ○ | × | ⑪ |
| 【紹介】 手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得し、手芸品を創造的に製作するなかで、服飾に活用する能力と態度を養います。 刺し子などの様々な刺繍や、縫い物や編物などを行います。いろいろなステッチや編み方を覚えることができます。手縫いや手編みに興味がある人におすすめです。 | | | |
| 【履修上の注意】 ・製作実習をします。つけ爪やアクセサリー等をしたままでは受講できません。 ・実習を中心とした授業なので、手縫いや手編みが苦手な人、欠席が多い人は単位の修得が難しいです。 | | | |

家庭

| 科目名 | | | |
|--|---------|---------|-----------|
| 保育基礎 | | | |
| 履修条件 | | | |
| ・家庭基礎を履修していること。 | | | |
| 単位数 | 対象年次 | 帯 | R6年度教材費参考 |
| 2 | 3 | H | 1,000円 |
| 定期試験（授業内を含む）の有無 | 実技課題の有無 | 校外学習の有無 | 進路 |
| ○ | ○ | △（調整中） | ⑤ |
| 【紹介】 保育の意義や方法、子供の発達と生活の特徴、子供の福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付けるとともに、子供一人ひとりの発達に適した保育環境を整えることを学びます。 | | | |
| 【履修上の注意】 ・実技実習の際には、 <u>子どもへの安全のため長い爪、アクセサリは外してもらいます。</u> ・校外へ見学に行く際には別途交通費がかかります。 ・グループワーク、ペアワークを多く実施します。 ・活動レポートや作品制作、人前での発表活動を行います。 ・欠席日数が少ない生徒が望ましいです。 ・幼稚園教諭または保育士の進路を考えている生徒に向いています。 | | | |

| 科目名 | | | |
|--|---------|---------|-----------|
| ファッション造形 | | | |
| 履修条件 | | | |
| ・ファッション造形基礎を履修していること。 | | | |
| 単位数 | 対象年次 | 帯 | R6年度教材費参考 |
| 2 | 3 | G | 7,000円 |
| 定期試験（授業内を含む）の有無 | 実技課題の有無 | 校外学習の有無 | 進路 |
| ○ | ○ | × | ⑪ |
| 【紹介】 ファッション造形基礎で習得した知識や技術を応用発展した内容です。 より高度な被服の構成を理解し、目的に適した被服材料を選択し、応用性のある知識と技術を養います。 縫製技術を習得するとともに創造的に制作する能力と態度を養いファッション産業やアパレル産業にかかわる人材になることを目指します。 製作した被服作品を用いて着装の知識と技術を学びます。 ものづくりが好きで、ファッション産業に興味のある人におすすめです。 | | | |
| 【履修上の注意】 ・技術や構造の学習を目的とするため、生徒の性別に関わらず製作する作品は女性物となります。 ・ファッション造形基礎で学習した知識、技術を習得していることを前提に進めます。 ・実習を中心とした授業のため、裁縫が苦手な人、欠席の多い人は単位の修得が難しいです。 | | | |

家庭

| 科目名 | | | |
|--|---------|---------|-----------|
| フードデザイン | | | |
| 履修条件 | | | |
| ・家庭基礎を履修していること。 | | | |
| 単位数 | 対象年次 | 帯 | R6年度教材費参考 |
| 2 | 3 | D, H | 4,500円 |
| 定期試験（授業内を含む）の有無 | 実技課題の有無 | 校外学習の有無 | 進路 |
| ○ | ○ | × | ⑫ |
| <p>【紹介】</p> <p>栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得し、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を養います。栄養、食生活の改善、和洋中などの特徴と献立と調理、お菓子の調理などを学びます。栄養の知識やさまざまな調理を覚えることができます。調理師や栄養士を目指す人や、食や調理に興味がある人におすすめです。</p> | | | |
| <p>【履修上の注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習をします。つけ爪やアクセサリー等をしたままでは受講できません。試食の際にアレルギーの考慮はしますが、好き嫌いの考慮はしません。 ・実習は3～4人の班で行います。 ・授業内で確認試験があります。また、年間を通してレポートがあります。 | | | |